

磐城時報

編輯部 印刷部 發行部 廣告部 電話 印刷所 發行所 廣告料 日刊日曜祝祭日

比佐代議士側を告訴する

湯本復湯問題の余波

湯本復湯問題は坑口開鑿をなし紛擾を醸して来たが定地が代議士比佐昌平氏の今回右土地が意外にも脱落管理にかゝる比佐政三氏所地と判明したので石川町長有地であるのに同氏に無交は今日まで比佐代議士側に涉りて着手したといふ事ばれた事口借しが比佐の比佐代議士側では湯本代議士側をアベコベ告訴す町長を相手取り刑事の告訴るといふ事である。

修理終つた磐城丸

小名濱港内で流離部大修理の上越港へ更生第一歩を踏み出した縣指導船磐城丸は三陸ドックでプロペラの取替へと船底塗替作業を終了し三十日午後六時歸港したが、従来のプロペラは四十五時であつたため多少重く減があつたが、四十三時に更新したので一分間二十回を増したのも最高時速八哩七分が平常で前同様最高九哩一分となり更に從來不完全燃料焼のため黒煙をはいてゐた同船が完全燃焼によつて白煙と變る更生振りで岩谷船長始め組員一同喜色溢れてゐる。尚ほ同船は來る十四日正午出港塩屋崎正東五百哩の漂流観測に從事し十七日一路北上し金華山沖百哩乃至二百哩秋刀魚漁場の調査に向ふ筈。

高校の尺八の先生熱心湯から檢舉

蘭童の親友「鶴風」師

三日午後平署第二司法室でたので平署に突き出された巧みに尺八を吹いてゐる者である。同人は本邦尺八が、その腕馴れた音色八の大家川瀬竹友師の高弟に署員も驚き惚れてゐた。で桃色事件で有名になつた右は東京市品川區大井町大井川瀬蘭童とも親交の間柄で町六六横濱高校尺八教授ある、懐が淋しい處からイ「鶴風」事内田建藏(三九)ンチキな前記會社にひつかで、學校が暑中休暇に入つてこの始末になつたも流暢の調査に向ふ筈。

高等官四等の夫人毒藥自殺を遂ぐ

平町城山の實家で家人は自殺を否認

舊縁に際し内郷村炭礦を中いので本年六月頃から不貞心に兇器を所持して通行人團を組織し日本刀や匕首等を脅かしてゐる不貞團を平の兇器を持ち廻つて暴行恐嚇で探知し三日夜同村宮無喝を働いてゐたが舊縁に際職安部定吉(八)渡邊直次(二)し假裝に名を借り同様兇器大浦村十一年度徴兵合格者土仁井田味噌油醜造元高降客は大正十四年以來の最凶歩兵十三番根本金重、氏の新盆にあつてゐるの百二十三番。降車人員は三千九十九番坂本文雄、二十番で先祖並に新佛の供養とし九百二十三番であつた。

薬毒酸加里をのんで自殺を遂げた、光子夫人は上遠氏と十三年前結婚し長女十二歳、次女四歳をあげこの春以來強烈な神経衰弱にかゝり六月中北海道登別温泉で實父大出氏と共に静養中思はしくなくて實家に歸省中子供二人を置いて自殺を遂げたものである。實家は自説を否認し心臓麻痺と言つてゐるが、大出氏は「光子は私の長女で十三年前上野と結婚し長女くみ子(十二)次女あさみ(算術、テストの三科目目につ四ツ)の二人をあげたが、今春から神経衰弱にかゝる見込である。」

日立職工採用日は好成績

日立職工採用日は好成績

土地崩壊して三名重軽傷

仁井田川工事中の椿事

大浦村大字上仁井田字南濱に入院加療中であるが、居住佐藤源藏(四〇)は昨日三日に働いてゐた夫人夫四倉町同村大字高橋地内仁井田川本町片寄ミ外一名も土砂崩壊工事に従業中七尺余に埋められたが早速掘り出し土砂崩壊佐藤は約一ヶ月位したので軽傷で済んだ。の重傷を負つた、木村醫院

盆踊の假裝に名を借り兇器を振り廻す

炭礦街を荒した不良團一網打盡

舊縁に際し内郷村炭礦を中いので本年六月頃から不貞心に兇器を所持して通行人團を組織し日本刀や匕首等を脅かしてゐる不貞團を平の兇器を持ち廻つて暴行恐嚇で探知し三日夜同村宮無喝を働いてゐたが舊縁に際職安部定吉(八)渡邊直次(二)し假裝に名を借り同様兇器大浦村十一年度徴兵合格者土仁井田味噌油醜造元高降客は大正十四年以來の最凶歩兵十三番根本金重、氏の新盆にあつてゐるの百二十三番。降車人員は三千九十九番坂本文雄、二十番で先祖並に新佛の供養とし九百二十三番であつた。

ツケ馬の女給二人見事に捲かる

無銭飲食の常習者が

平町南町カフエーバラダイ月前に来るといふは俺の家昨報一平町八幡小路軍手製ス事久保田英雄方女給磯谷だから金を持つて来ると兩造業坂本兼次郎氏長女磐高スイ子(三)外一名が若く人を待たせそのまゝ籠抜け女二年生坂本愛子(三)妹美つて三日正午四倉署に出頭逃走された」との事で四倉津(二)の兩名が去る一日行「今日まで數回登樓し頭知署で捜索中であるが、同人名不明となつた事件は平署りである四倉署城セメントは無銭飲食の常習者であるに搜索願が出たので八方捜索の結果三日田村郡谷田川村自動車業石井與八さん方に居た事判明した。

浮ばれぬ佛

亡靈妻の枕許に現れる

三阪村區長殺しは昨年十月五日事件發生以來今なほ迷宮入りであるが、被害者白石區長の妻さだ(五一)さんは昨日平署に出頭し、毎夜亡夫が私の枕許に現はれ犯人が捕まらぬたは行く處に行けぬと口説くから一週忌までには此程家事上の都合で辭任は犯人を捕へて下さいと嘆後任に鈴木一男氏任命され願した。

鹿島組頭交迭

鹿島村消防組頭佐藤米次氏

鹿島村消防組頭佐藤米次氏は此程家事上の都合で辭任後任に鈴木一男氏任命され願した。鹿島村消防組頭佐藤米次氏を物語る七月十九日より八月末日迄に於ける四倉署の乗降人員は、乗車人員二萬八千九百七十五人、降車人員二萬八千七百二十一一人、尚ほ八月二日の乗降客は大正十四年以來の最高記録で乗車人員は三千九百二十三番。降車人員は三千九百二十三番であつた。

コンボーク 塩豚 平町四町 三三三三屋 電話三三三三番

海水浴中の四倉署成績 記録破り

法衣を寄附 大浦村 土仁井田味噌油醜造元高降客は大正十四年以來の最高記録で乗車人員は三千九百二十三番。降車人員は三千九百二十三番であつた。

御挨拶

残暑を迎へます折柄謹みて皆々様の御健康を御祈り申上げます。

扱て私儀水野化粧院を開設致しましてから恰度今年で七週年を迎へました。

微力の私共では到底迎へ得ざる永い歳月で御座います。が、これ偏に皆様の御引立による賜ものと厚く御禮の言葉を申述べる次第で御座います。

今度これが記念と、皆々様への一層の御努めのためにオゾン理容器一臺を備へつけました。

この理容器は近代美容術の機械化で御座います。御使用後の御満足は決して申さぬ事と固く御誓ひ致す次第で御座います。是非一度御試しあられます事を御願ひ致します。共に七週年を迎へるに當り御最負の皆々様方に御挨拶申上げる次第で御座います。

昭和十一年九月

平澤前 水野化粧院

電話(営業所) 平澤前 五七七八番
電話(自宅) 四軒町水野商店 五二五五番

御得意の皆々様方に

理髮 東京

親切は「理髮・東京」の出発点
誠實は「理髮・東京」の生命線

平町三丁目警察署通り

外科花柳病専門

入院随意

平町六丁目

木村外科醫院

電話三〇九號

純良なる石鹼は
大工場の優秀なる技術より

三星石鹼

洗濯用
化粧用

絹物に毛織物に手洗用に
(石鹼の粗質は生地や手を損めます)

質よく泡立よくて
御家庭の御經濟!

御用命は最寄の販賣店へお願致します。若し品切れの節は「エサ」で御明の弊店へ御申し下さい。

ナワマイト 濱三郡賣捌元
フリールゲン

販賣店募集 菅本飼料店
委細御申下さい 平町一丁目 電話五九六番

和洋銅鐵金物問屋 久産商店

諸橋久太郎 電話九九番

上田外科

平町南町 電話一二九番

三百年の歴史を有する
家傳靈藥 消食散
馬相ハンサキ 一名かけの藥

代理店 平町大町 丸龜商店 電話一三三番

外科 内臟外科
工ツキス光線科 院長 安齋徹

産婦人科 醫學士 黒澤廣

入院随意 安齋醫院
平町田町 電話四七五

腸胃 性病 専門

胃腸病科 性病科
花柳病科 泌尿器病科
皮膚病科 肛門病科

松村村松 性病科
院醫科 (番七〇一電) 町南町平

昭和タクシー

電話三四三番

中野齒科醫院

診療科目
一、齒科一般
補綴科 保存科
齒列矯正科 小兒齒科
齒槽膿漏科 一、口腔外科
一、レントゲン科

院長 日本齒科 中野 惠次
醫學士 西川 誠

平町田町(松月堂向) 電話五〇九番

◇看護婦至急募集

外科一般 レントゲン科
内臟外科

北川外科

平町新川町(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川 芳夫
小林 良次 電話四六四番

吸入用酸素 純度 99%

●寫眞機 ●秤ノ取締 ●鍍糸 ●修養致シマス

●材料一式 ●寒暖計

關内藥局 電話四〇番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院 醫學士 鈴木 正男
平町田町藤田女學校前 (電話五八番)

高久病院

平町田町 (電話五一三番)

醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科